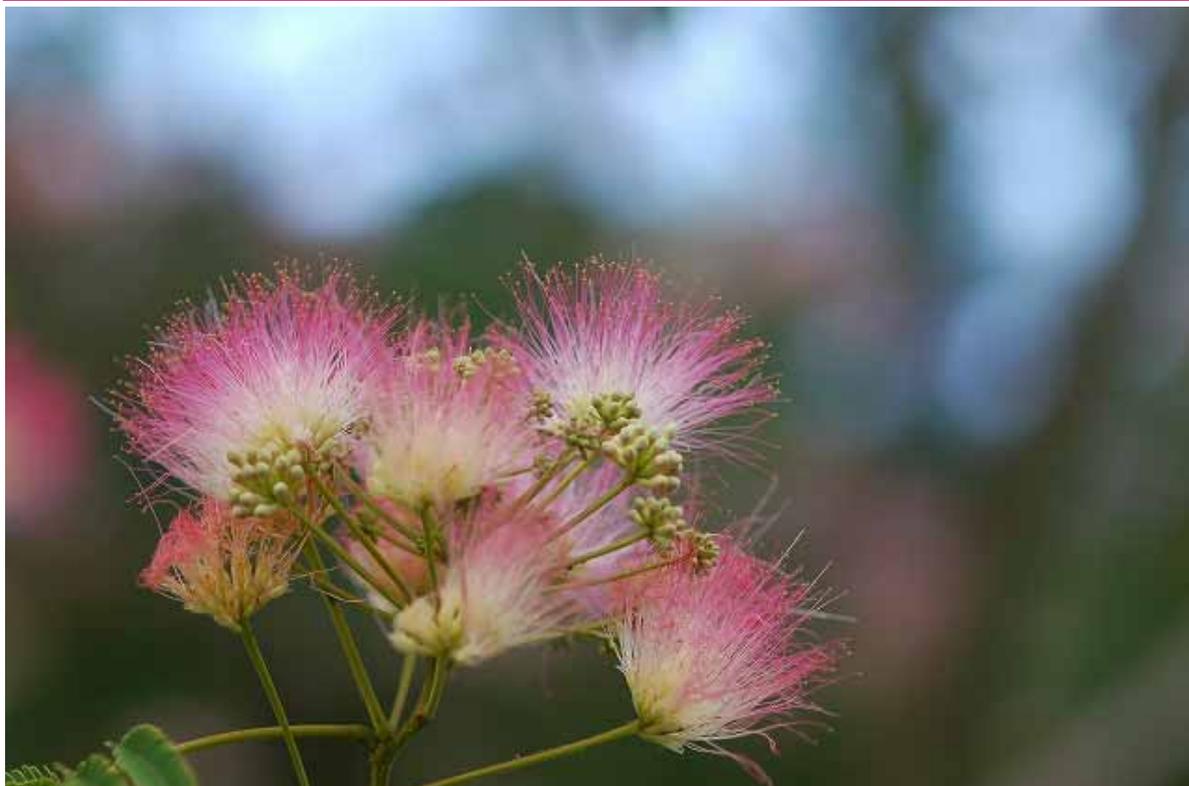




～季節の花便り～

かんざし細工のように繊細な花姿・・・そしてやわらかく甘い香り

ネムノキの花 見頃です。



平成 20 年 7 月 17 日撮影

謹啓 梅雨の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国営ひたち海浜公園では、現在、“ネムノキ”が化粧用の刷毛を逆さにしたように、淡い紅色の花を咲かせていますのでご案内いたします。

じめじめした梅雨の蒸し暑さの中、かんざし細工のように繊細な花姿と淡い色合いは、思わず足を止めさせるような魅力に溢れています。また、ネムノキの花の香りについて語られることはあまりありませんが、そのやわらかく甘い香りは、見る人の心を和ませ、穏やかな気分になしてくれます。

通常、ネムノキの花は頭上よりはるかに高い枝先で上向きに咲き、間近に見ることができませんが、本公園では、花姿のみならず、香りをも間近に体感できる絶好の場所でお楽しみいただけます。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339
お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

開花：7月中旬～8月上旬

ネムノキ

マメ科落葉高木

【ネムノキ豆知識】

中近東から東南アジア、日本の東北地方以南にかけて自生し、高さ6～10mになるマメ科の落葉高木です。

名前の由来は、夜になると葉を閉じて眠っているように見えることから、「眠りの木」「合歡の木(ネムノキ)」となったと言われています。

また、その繊細な花姿から、英名で「Silk Flower(絹の花)」「Silk Tree(絹の木)」と呼ばれています。

【ひたち海浜公園のネムノキ】

園内には、公園が整備される以前から自生していたネムノキ約30本がそのまま残されており、毎年この時期に淡紅色の花をお楽しみいただいています。

「そよかぜ橋」近くのプレジャーガーデン側の園路沿いや「香りの谷」の橋のたもと、「大草原」北東側の園路沿いなどに点在し、特に、「そよかぜ橋」近くや「香りの谷」の橋のたもとで咲くネムノキは、枝を見下ろすことができるため、花を間近で見て、香りを体感することができる貴重なポイントとなっています。



「そよかぜ橋」近くのプレジャーガーデン側の園路沿い(平成20年7月17日撮影)



平成20年7月17日撮影



平成20年7月17日撮影

トピックス ～歌に登場するネムノキ～

古くは万葉集に「昼は咲き 夜は恋ひ寝(ぬ)る 合歡(ねぶ)の花 君のみ見めや 戯奴(わけ)さへに見よ」(紀女郎(きのいらつめ))と詠われています。

また、江戸時代には、「合歡咲く 七つ下りの 茶菓子売り」(小林一茶)や、「象潟(きさかた)や 雨に西施(せいし)が ねぶの花」(松尾芭蕉『奥の細道』)と、俳句の中にも登場します。

日本では、ネムノキの“夜に葉が閉じる様”や、“花の美しさ”を引用した歌や俳句が詠まれているほど、古くから親しまれてきた植物なのです。



ネムノキの花のアップ(平成 20 年 7 月 17 日撮影)